

細島港

細島港の概要

県北部に位置する細島港は、“東九州の物流拠点”として本県産業を支える港である。コンテナ航路が5便/週（韓国航路、中国航路、台湾航路、神戸航路）、RORO船航路が3便/週（大阪航路、東京航路）就航しており、東九州の物流拠点として重要な役割を担っている。

将来像

宮崎の物流と産業を支え、安全・安心と潤いで満たされた東九州のみなと 細島
 ～背後地域産業の発展を支えていく物流・生産の一大拠点、細島港～
 ～災害に強く、市民の暮らしと企業活動を支える防災拠点、細島港～
 ～豊かな地域資源を生かし、県北地域の交流拠点、細島港～

主な施策

- ◆ 国際海上コンテナ輸送、内航複合一貫輸送網のネットワーク強化
- ◆ 効率的な港湾利用への転換
- ◆ 大型バルク船への対応

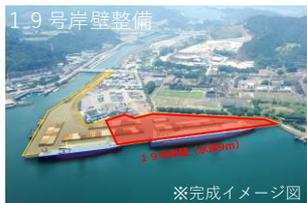
- ◆ 地震・津波対策の推進
- ◆ 発災時の物資輸送・救援活動拠点としての機能強化



- ◆ 産業を支える港湾の整備
- ◆ 漁船対策の推進による地域水産業の振興

- ◆ プレジャーボート対策の推進
- ◆ 魅力ある親水空間の整備
- ◆ 周辺観光資源とのネットワーク形成

- ◆ 19号岸壁の整備（R4～R8予定）
- ・ 大型化するRORO船に対応
- ・ 内貿ユニットロード機能の強化
- ・ ヤード不足の解消



※完成イメージ図



HAKKOひなた(R2.2就航)

- ◆ 16号岸壁の整備（R1～R5年度予定）
- ・ 原木の輸出に対応
- ・ 効率的な港湾利用



チップや製材品を毎日国内各工場へ出荷



凡例	
—	物流
—	産業
—	安心・安全
—	交流・環境



避難訓練状況